

学術集会プログラム

産婦人科 June seminar

産科急変対応シミュレーション講習 【君は母体を救命できるか！？】

6月21日（土） 12：30～16：30 第3会場「5階 オリオン」

6月22日（日） 8：00～12：00 第3会場「5階 オリオン」

周産期シミュレーション教育研究会（代表 千葉大学 長田久夫）/日本医科大学 石川 源

産科の実地臨床で遭遇しうる急変状態に対して、効果的に対応するためのシミュレーション講習です。周産期シミュレーション教育研究会（事務局 千葉大学産婦人科内）が構築してきたシミュレーション講習で、BLS、ACLS、ALSOなどとは独立した、独自のプログラムです。

当日は、4～6名を1チームとし、メンバーどうしが協力していくつかのシナリオベーストレーニングをしていただきます。急変対応や蘇生のスキルを磨いていただくほか、チーム医療についても学んでいただける内容としており、学習レベルとしては、臨床実習レベルの学生から専門医クラスまで、いずれの方が受講しても学ぶところの多いものとなっております。

なお、これまでのご案内では、それぞれ土曜日を13時開始、日曜日を9時開始としておりましたが、受講生全員に「TeamSTEPS」に基づいたチームワークについてのレクチャーとワークを受講していただくため、開始時刻を繰り上げさせていただいていることをご了承ください。

受講申し込みに対しては、医学生、臨床研修医、専攻医を優先して採択させていただきます。

数時間みっちり学び、頭と体をフルに働かせることで母体救命の熱さと尊さを実感していただければ幸いです。

スキルやチームパフォーマンスなどを評価して、優秀なチームには賞品を贈呈致します。当日は、動きやすい服装でお越しください。お待ちしております。

① 6月21日（土）12：30～16：30

② 6月22日（日） 8：00～12：00

①、②とも、それぞれ同一の内容としております。

説明文にある通り、これまでのご案内と開始時刻が異なっていることをご了承ください。

※当日見学も可能です。

腹腔鏡ハンズオンセミナー 【講習の最後は縫合タイムトライアル!】

6月21日(土) 13:00~15:00 第6会場「6階 606」

6月22日(日) 14:10~16:10 第3会場「5階 オリオン」

日本医科大学低侵襲手術チームトレーニング担当
市川 雅男, 峯 克也, 小野 修一, 可世木華子, 関根 仁樹

腹腔鏡手術は、面白そうだからやってみたいけど、難しそうだなあ…と思う方は多いでしょう。もし、難しいかと問われたら、“確かに難しい部分はあるけれど、基本とコツを覚えれば、誰でも出来るようになる”というのが私の答えです。誰でもなんて…と疑うかも知れませんが、嘘ではありません。なにしろ、我々は子供の頃から箸でご飯を器用に食べる国民です、他のどの国の人よりも物を道具でつかむという訓練をしてきているのです。

一般に、ある技術のプロになるためには、10000時間の訓練が必要です。従って、腹腔鏡手術技術の習得にも時間がかかります。しかし、正確な内視鏡手技の基本とコツを覚えれば、その時間は短縮可能です。なぜなら、我々は、既に物を道具でつかむという腹腔鏡手術の訓練を長時間してきているのですから。

“ついに、あの伝説の腹腔鏡一早縫いコンテストが関東連合で完全復活!”

腕に覚えのあるものは、6月21日土曜日、第6会場に集まれ!

開催時間は、11:30~13:00/15:00~17:00

あなたは、ご存知だろうか?かつて日本内視鏡外科学会で一斉風靡した腹腔鏡一早縫いコンテストの存在を。各大学がその名誉をかけて腹腔鏡での早縫いを競った熱い大会の事である。

今回、関東連合で、一日だけの完全復活、見逃すな!(一位には、賞品あり)

※当日見学も可能です。

婦人科病理診断ドリル 【あなたの病理力を試す(ベーシックコース・アドバンスコース)】

6月21日(土) 15:00~16:20 第5会場「6階 601」ベーシックコース

座長: 日本医科大学 鴨井 青龍

演者: 日本医科大学 米山 剛一

日本医科大学 土居 大祐

6月22日(日) 9:50~11:10 第5会場「6階 601」アドバンスコース

座長: 日本医科大学 米山 剛一

演者: 日本医科大学解析人体病理学 寺崎 美佳

日頃、業務に忙しく顕微鏡を覗く時間がとれない先生方が殆どであろうと推察します。他方、病理になじみの少ない先生方も日常臨床で必須の病理組織レポートを読み解く力を養いたいと考えていることと思います。今回、このような臨床の先生方および学生を対象として婦人科病理のコースを2種類用意致しました。ベーシックコースは、婦人科腫瘍専門医が解説する、臨床上必要最低限の病理組織を紹介するコースです。このコースの目的は、日常の病理組織レポートに記載してある内容が理解でき、基本的な組織像をイメージできることです。まさに病理組織を見たことが殆どない先生方や学生を対象とした、ゼロから始める婦人科病理です。ざっくりとした基本の組織像のパターン認識を獲得出来るように配慮しています。アドバンスコースは、婦人科病理に造詣が深い病理専門医に解説して頂きます。産婦人科専攻医やこれから婦人科腫瘍専門医を目指す方にお勧め致します。両コースともアンサーパッドを用いて個人成績を出し優秀者を表彰する予定です。多数の方のご参加をお待ちしております。

※当日見学も可能です。